

## 卒業生の意見を本学の教育・研究の改善に繋げるためのアンケートについて

卒業生の皆様から頂いた貴重なご意見ご提案を踏まえて、広島大学の教育・研究，大学運営の充実に向けた取組を行うとともに，更なる改善に向けた検討を行っています。

### 1. 大学生活全般について

本学では，大学生活全般において学生一人一人が社会で通用する基礎力及び実践的応用力を身につけることの重要性を認識しております。

そのための具体的方策として，学生の自発的活動を尊重することを目的とし，授業等の改善，海外留学の推進，地域活動，課外活動及びボランティア活動への支援を行っています。

### 2. 教養教育について

教養教育では「幅広く深い教養と総合的な判断力を培い，豊かな人間性を涵養する」という教育理念の下，急速に変化する社会情勢や国際情勢にも十分配慮しつつ，継続的な見直し，改革を実行してきました。特に，2018年度からは，上記理念に加え，「自ら主体的に考え，問題を発見し，解決する能力を涵養すること」，「グローバルな視野に立ち，国内外で活躍するための能力を涵養すること」を目的として掲げ，以下の3点を柱とした新カリキュラムを実施しています。

- (1) 大学で学ぶ上で基本となる技能や態度を身につけさせるための必修科目「大学教育入門」を新設
- (2) パッケージ別科目と領域科目を統合し，人文社会科学系科目群と自然科学系科目群からなる新たな科目区分（領域科目）を開設
- (3) 社会人基礎力の育成に関する科目区分（社会連携科目）を開設

上記科目のうち，大学教育入門では，各界で活躍されている著名人による講演「世界に羽ばたく。教養の力」を実施している他，社会連携科目では，「現代霞が関論」「キャリアデザイン講座 - 先輩プロフェッショナルが「あなたの未来」のために語る -」等，官公庁や民間機関等の現職の方による授業を展開するなど，社会で活躍されている方々の経験や考え方に触れる機会を提供することで，大学生活および将来の職業等を考えるうえでの動機づけを高めております。また，社会へ出る土台となる社会人力を高め，教養を身につけることを目的とし，グローバルキャリアデザインセンター教職員等が講師となり「キャリア教養講座 - 世界に通用する高い社会人力を身につける -」を開講しています。

アンケートでは，「教養教育の意義・目的の明確化」に関して複数のご意見，ご要望をいただいておりますが，入学直後の「教養教育ガイダンス」や「大学教育入門」を通じて，大学での学びの意義や，教養教育の位置付けをより分かりやすく伝えられるよう改善に取り組んでおります。

また，グローバル化の進展に伴い，例年，英語をはじめとする外国語科目に対するご意見等が多く寄せられていますが，本学では，到達目標型教育の一環として

TOEIC(R) L&R IP テストを 2004 年度から全学一斉実施により行っており、英語で実施する教養教育科目も年々拡大しております（2019 年度は 2015 年度と比較すると約 40 科目増加）。加えて、外国語科目については、学内での授業以外にも、本学の海外協定校が提供する語学研修（短期留学）プログラムに参加し、一定の条件を満たすことで単位認定できる制度もあり、学外でより実践的な教育を受けることも可能です。

さらにアンケートでは、情報教育に関する記述も見受けられましたが、本学では情報科目を通じて、情報やコンピュータを活用するために必要となる知識や技能修得の機会を提供しております。そして、近年では、数理・データサイエンス教育の強化が求められており、今後も社会のニーズに対応し、将来を見据えた教育内容の検討を進めているところです。

一方、新規採用教員および新規に教養教育の授業を担当する教員らが上記の目的や取組みを十分理解した上で授業を提供できるよう、研修会や教員間の授業参観も定期的に開催しており、教員及び授業の質向上にも取り組んでいます。

### 3. 専門教育について

幅広い視野から物事を捉え、高い倫理性に裏打ちされた的確な判断を下すことの出来る人材育成のための主な取組として、学士課程教育においては、次のことを行っています。

- (1) 到達目標型教育を実現するための教育プログラムの実施・検証・改善
- (2) 問題発見解決能力向上のため教育（PBL 教育）
- (3) 卒業時における外国語運用能力向上のため全在学期間にわたっての TOEIC(R) L&R IP テストを実施（グローバル化社会に向けての対応）
- (4) 「学生による授業改善アンケート」を実施

プレゼンテーション能力、統計学の知識やデータ分析の手法を向上させる場があればよかったとのご意見がありましたが、本学では、留学やボランティア活動といった学生の主体的な学習体験の促進や、授業を短期間で集中的に受講することによる教育効果の向上等を目的として、クォーター制（4 学期制）を導入しています。さらに、対話・討論や反転授業等のアクティブラーニングを授業に取り入れやすくするため、1 クォーターで完結する授業科目は、週 2 コマ連続（180 分）で実施することを原則とし、主体的な学びが実現できる修学環境を整えているところです。

また、2018 年度に設置した情報科学部において、全学部生を対象に体系的な分析手法や情報処理技術に関し、学問領域に応じたデータサイエンス／インフォマティクス教育を「情報パッケージ科目」として行っています。情報パッケージ科目により修得した知識は、卒業研究、大学院での学習、就職後の業務等さまざまな場面で活用できると考えています。

### 4. 学生支援について

本学に入学された方が、卒業されるまであらゆる面で充実した学生生活を送れるよう、きめ細やかな学生生活のサポートを行っています。学生の課外活動については、

今後も課外活動施設の維持管理や助成物品の支給など、更なる充実に努めていきます。

ボランティア活動についても、学生が積極的に参加できるよう情報提供に努めるとともに、2017年度からは東広島市内各所で行うボランティアに係る交通費は大学で負担する制度を設け、学生の負担を軽減しています。

駐輪場が少ないことについてご意見をいただきましたが、2019年度中に学内数カ所に駐輪場の増設を実施して混雑を解消する対策を講じます。自転車の放置が問題になっていますが、2020年度から自転車登録制度等を導入し、放置自転車が少なくなるよう対策を講じる予定です。

授業料免除や奨学金が受けられてよかったという声が多く寄せられています。本学では、経済支援制度として授業料免除、入学料免除・徴収猶予制度などを実施しています。さらに、広島大学独自の給付奨学制度として、2008年度から「フェニックス奨学制度」、2017年度からは在學生（3年次生から）を対象とした給付型奨学制度である「光り輝く奨学制度」をそれぞれ実施し、学力が優秀でありながら経済的理由により大学進学や就学が困難な学生を支援する制度を充実させています。

これらの制度については、「広島大学 学生情報の森 もみじ」(<https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/keizaishien/financial.html>)において情報を提供しております。

また、2020年4月から、高等教育修学支援新制度が始まり、本学も対象機関になりましたので、新制度に基づいた経済支援を行っていく予定です。

多くの意見が寄せられたキャリア支援・就職支援については、「1年次から将来に向けて社会経験を積む必要がある」「OB・OGと交流できる機会がほしい」「教員採用試験対策を充実させてほしい」等の声がありました。本学では以下の取組により、これらの要望に応えられるよう改善を重ねています。

- (1) 学部1年次生全員が学外の企業・団体等での社会体験、就業体験、ボランティア等を行う「初年次インターンシップ（社会体験）」を2019年度から実施
- (2) 卒業生と在學生とのつながりを築いていくため、関東・関西・広島のOB・OGによる業界研究セミナーを2018年度から開催
- (3) 大都市圏（東京・大阪）での就職活動を希望する学生支援として、就活支援ツアーを企画し、校友会等組織と連携して現役学生と卒業生との交流の場の設定
- (4) 進路が決まった学生の協力を得て、就職活動を行う後輩に対して自らの体験をもとにサポートをしてもらうキャリアサポーター制度の充実
- (5) 広島大学消費生活協同組合と連携し、教員採用試験対策講座及び公務員試験対策講座を実施

今後も引き続き、皆様からのご意見等を踏まえ、検証・改善に努めて参ります。